



「主体的な学び」の構築

新年度が始まり、朝の職員室では、毎日係の生徒の「学びノートとフォーサイトを持ってきました！」という元気な声が響いています。そして、その二つは、

担任の先生たちが個々の生徒の記入内容を確認し、励ましの言葉を伝えていきます。

働き方改革の中では、削減の検討をした作業ですが、やっぱり大事だということと時間をかけています。

「主体的な学び」

「社会につながる

学び」を身に付けさせることが、

これからの変化の時代を生きる

上では欠かせません。生徒たちが将来、明るく元気で幸せに生きることができるよう、このサイクルを自分で回す力

身に付けさせたいと考えています。

・今日の授業で「何を学んだか」を整理するノートです。

・タブレットPCを活用して、漢字や英単語、重要語句などを記憶するアプリです。

学びノート・モノクサ(AI学習)
授業・行事・生徒会活動等
(実践・積み重ね)

キャリア・ポートフォリオ
(取組の記録)

・自分の人生で「大事ななあ」と思う物を入れるファイルです。心に響いた言葉のメモなども入れます

- ・より良い学び(生活)の習慣
- ・努力を重ねたら、自分は必ず良くなっていくという信念・希望
- ・自分の夢や目標を実現させる計画性

このサイクルを通じて、生徒たちに身に付けさせたいことは、次の三つです。

キャリア・マネジメントシート
(将来の夢や目標)

・A3版の大きな用紙に自分の将来の夢や希望、その実現のために必要なこと、自分の「強み」などを書き込むものです。通知表を出すときにいっしょにはさんでお渡します。

御家庭では、まずはスマホやタブレットの使用時間を一時間以内にしていたければ嬉しいです。

フォーサイト
(スケジュール管理+ふりかえり)

・スケジュール管理手帳です。時間割のほか、家庭学習の時間や内容、起床や就寝時刻等を書き込み、時間を賢く使うためのものです。



《コラム 港町ブルース》

「今が未来を創る」

為せば成る
為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり

この言葉を残したのは、江戸時代中期に米沢藩(今の山形県東南部)を救った上杉鷹山です。この言葉が、令和の世でも語り継がれるのは、個々人の人生になぞらえるからです。

やるうと思うか、思わないか。
やったか、やらなかったか。
やりきったか、あきらめたか。

“今”を積み重ねた結果が、私の未来です。「未来を創る」そんな選択を生徒たちと共にしていきたいと思えます。

《 主な行事予定 》

《令和6年度 5月》

- 連休後半 3日(金)…憲法記念日
4日(土)…みどりの日
5日(日)…こどもの日
6日(月)…振替休日
8日(水) 体育大会総練習
12日(日) 体育大会(午前中開催)
20日(月) 実力テスト(3年生)
~21日
23日(木) 生徒総会
26日(日) 口之津小運動会

《令和6年度 6月》

- 4日(火) 中総体激励式、写真撮影
9日(日) 市中総体 球技・武道大会
~10日

《心に響いた言葉》 「やったー！4連休だあー！」

あいさつ運動中の生徒会長の声から。そのあと「まだ今日があるよ！」と生活委員長からたしなめられていました。



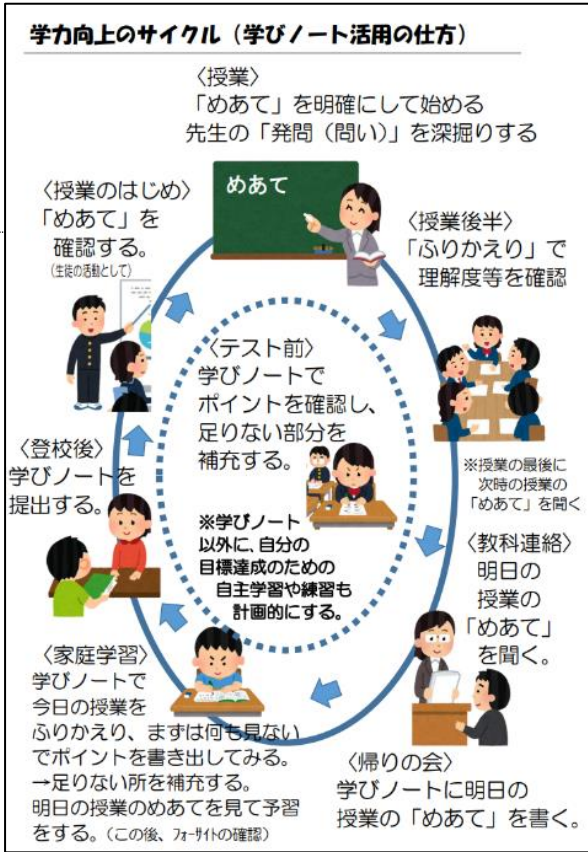
シリーズ「学校教育の充実」

第二期南島原市教育振興基本計画から

南島原市の教育振興基本計画(第二期)が昨年度末に策定され、令和一〇年度までの本市教育の道筋が示されました。そこで、本校として「どのように具体的に取り組んでいくか」ということを今年のシリーズのテーマにしたいと思います。特に「**人間力**」を育む教育の推進」とされた項目から抜粋して、以下、一〇回の連載として綴っていききたいと思います。

- 第一回…主体的・対話的で深い学び
- 第二回…キャリア教育
- 第三回…コミュニティスクール
- 第四回…道徳教育・人権教育・平和教育
- 第五回…教育DX
- 第六回…ふるさと学習
- 第七回…読書活動
- 第八回…部活動の地域移行
- 第九回…教職員
- 第十回…校種間の円滑な接続

では、さっそく第一回「主体的・対話的で深い学び」について始めます。(中段へ)



本市基本計画には、今回のテーマについて次のように記されています。

- (概略)
- ・自分で考え判断し表現できる力の育成
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・全ての児童生徒が安心して学び、学び甲斐を実感する学校教育の実現

〈そこで、中学校(本校)では〉
本校では、授業改革のほか、主体的な学びを推進するために「**学びノート**」というものに取り組んでいます。左図がその活用のサイクルです。

このほか、周りの大人が「**学び**」に「日常的」であることが大切なと感じています。

ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から

「九州オルレ南島原コース」

南島原市のホームページに「オルレ」の説明がありました。

「オルレ」は、韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。済州ではなじみ深い言葉ですが、トレッキングコースとして名づけられてからは全国的に有名になりました。オルレの魅力は海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くところにあります。

「潮風を感じながら、南蛮貿易で栄えた港町を歩く」と題したオルレ「南島原コース」は、全長一〇.五km、所要時間三〜四時間、難易度は中級だそうです。九州に十八あるオルレの一つがここ、口之津にある！これってけっこうイケてるー！と思いませんか？



【お知らせ】体育大会の雨天時対応について

体育大会当日が雨天の場合は、体育館で実施する対応を考えていますが、駐車場としてグラウンドが使えません。雨天時は、できるだけお乗り合わせで御来校くださるよう御理解と御協力をお願いします。